

# 東海経済レポート

## （2020年1月）

### ～企業部門の減速感が強まっているうえ、家計部門も斑模様～

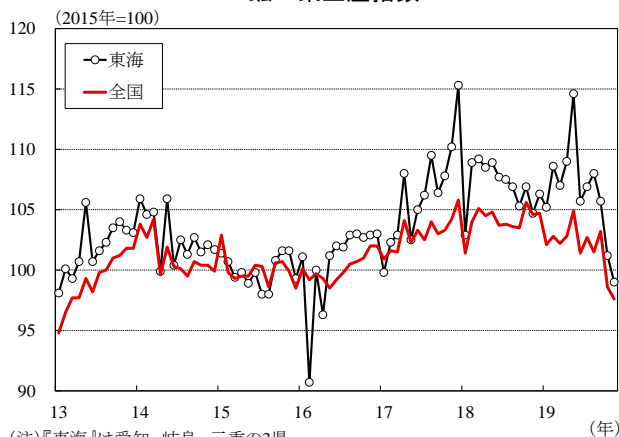
#### 【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は、企業部門で減速感が強まっているうえ、家計部門も個人消費は斑模様となっている。企業部門は、生産、輸出の弱含みが続いているほか、設備投資の先行指標となる金属工作機械の受注額も底入れが見えない状況である。家計部門では、個人消費の一部に消費税率引き上げの影響が残る。ただ、良好な雇用環境を背景に個人消費の落ち込みは一時的に止まり、緩やかな回復基調に向かうと考えられる。
- 生産は、昨年11月の鉱工業生産指数が前月比▲2.2%と3ヵ月連続で低下し、2016年4月以来となる水準まで落ち込んだ。業種別では、電子部品・デバイス工業が増産となったものの、当地域主力の輸送機械が3ヵ月連続で減産となったほか、電気機械や生産用機械など主要業種は総じて減産となった。
  - 設備投資は、7-9月期の大企業の投資額が前年比▲2.3%と、2四半期連続で減少となった。ただ、1社あたりの投資額は同+0.4%とプラスを維持した。金属工作機械の受注額は、11月の当地区主要8社の国内受注額が前年比▲41.8%と12ヵ月連続で減少した。
  - 輸出額（円ベース）は、12月が前年比▲10.5%と5ヵ月連続の減少となった。米国向けが同▲20.8%、EU向けが同▲11.7%、中国向けが同▲4.5%と、主要相手国・地域向けは総じて減少となった。品目別でも、主力の自動車と同▲13.2%、自動車部品が同▲10.1%、一般機械が同▲15.2%となるなど総じてマイナスとなった。
  - 11月の有効求人倍率は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県揃って低下した。各県共に依然高位にあるものの、岐阜県では5ヵ月連続で低下となったほか、静岡県は11月の水準が2017年2月以来となる水準まで低下している。
  - 個人消費関連では、11月の小売主要3業態の販売額は前年比+0.3%と消費税率引き上げの翌月ながらプラスとなった（2ヶ月ぶりプラス）。業態別では百貨店が同▲5.9%とマイナスが続くものの、コンビニは同+1.7%、スーパーも同+1.4%と増加となった。一方、11月の新車販売台数は同▲13.7%と、2ヵ月連続で減少した。
  - 住宅着工戸数は、11月が年率換算9.8万戸、前年比+6.0%と4ヵ月ぶりに増加となった。貸家と持ち家は前年比マイナスが続くものの、分譲マンションが同+96.7%、分譲戸建てが同+16.9%となり、全体を押し上げた。

### 【生産①】

昨年 11 月の鉱工業生産指数は前月比▲2.2%と、3 ヶ月連続で低下。

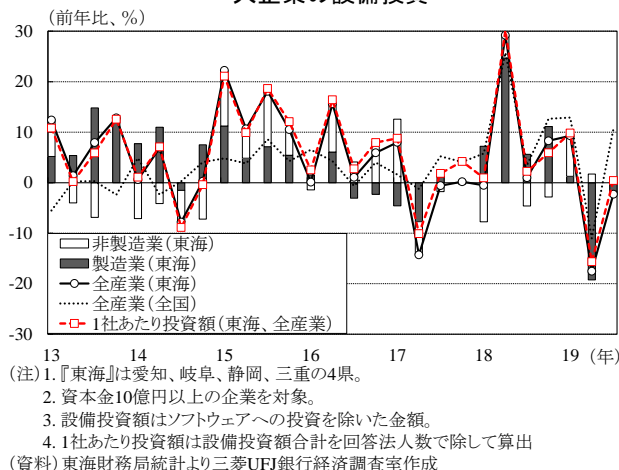
鉱工業生産指数



### 【設備投資】

7-9 月期の大企業の設備投資は前年比▲2.3%と減少。1社あたり投資額は同+0.4%と増加。

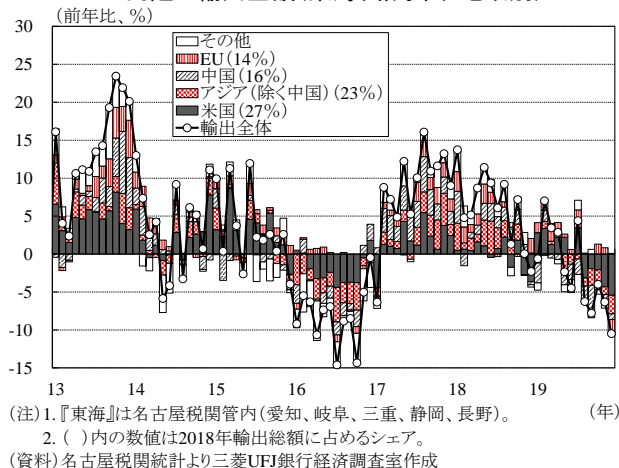
大企業の設備投資



### 【輸出】

12 月の輸出額 (円ベース) は前年比▲10.5%と 5 ヶ月連続で減少。主要国・地域向けは総じて減少。

円建て輸出金額 (東海、相手国・地域別)



### 【生産②】

電子部品・デバイスは前月比増産となったものの、輸送機械をはじめ他業種は総じて減産となった。

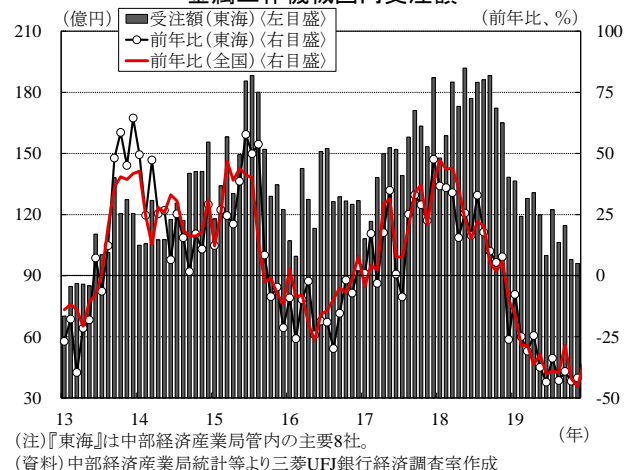
業種別の鉱工業生産 (東海)



### 【金属工作機械受注 (国内)】

金属工作機械の国内受注額 (当地区内の主要 8 社) は 11 月に前年比▲41.8%と、12 ヶ月連続の減少。

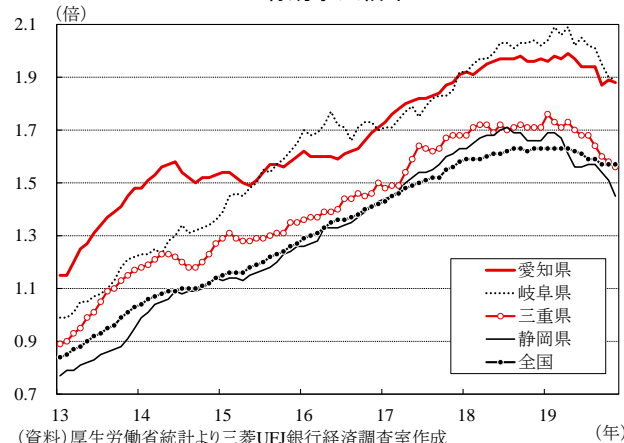
金属工作機械国内受注額



### 【雇用】

11 月の有効求人倍率は、4 県が揃って低下となった。岐阜県では 5 ヶ月連続での低下となった。

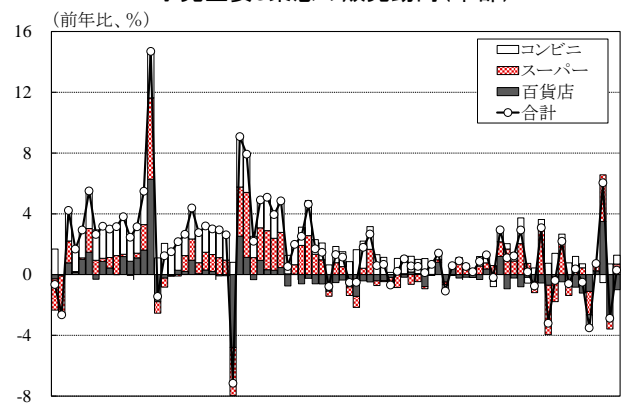
有効求人倍率



## 【個人消費】

11月の小売主要3業態の販売額は前年比+0.3%と、2ヵ月ぶりの増加。

小売主要3業態の販売動向(中部)

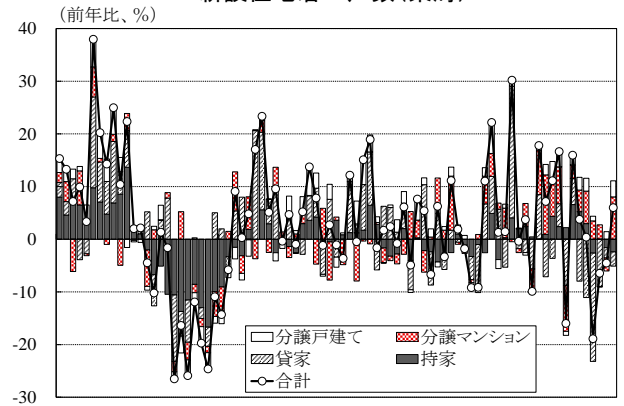


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 【住宅投資】

11月の住宅着工戸数は前年比+6.0%。分譲マンション、分譲戸建てが牽引し、4ヵ月ぶりの増加。

新設住宅着工戸数(東海)

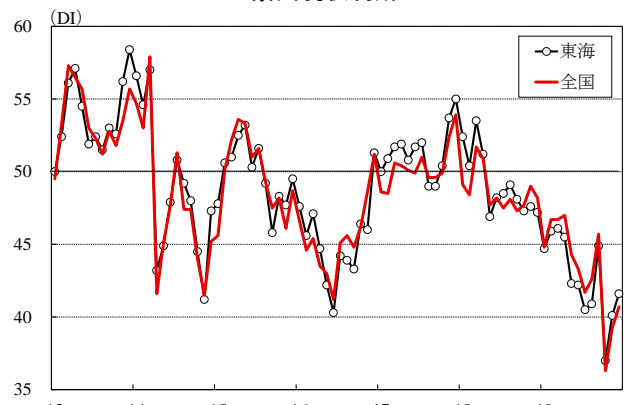


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 【景気ウォッチャー調査】

12月の現状判断DIは41.6と、好不調の分かれ目となる50を大きく下回るものの、2ヵ月連続で上昇。

景気現状判断DI

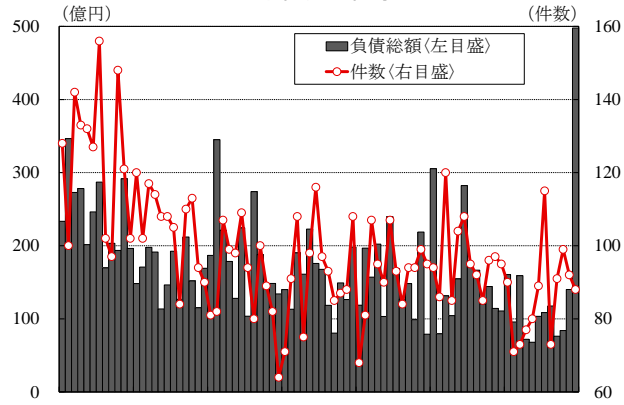


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 【倒産件数】

12月の企業倒産件数は前年比▲7.4%。負債総額は大型倒産があり498億円と、同+349.2%の増加。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 【原油価格】

WTI先物は、新型肺炎の感染拡大に伴う経済活動減速懸念から、足元では50ドル台前半まで下落。

原油価格



(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 【円相場・株価】

為替市場は、リスク回避志向の高まりを受け、足元で円高が進行。本邦株価も連動して下落。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。